

平成28年度 福岡県小郡市施策評価シート

【政策・施策名】		
政策	6 新たな小郡市の地域自治体制づくり	
施策	6 計画の進行管理	施策コード
		1 行政評価システムの活用
		2
		3
		4
		5
		6
		7
		8
施策内容	9 その他	P6061
		P6069

【施策の基本目標】	
行政評価システムにより、市民との協働で策定された第5次総合振興計画の進捗状況を随時点検し、その評価結果を公表することで適切な市政運営をめざします。	

【投入されたコスト】		
投入コスト(千円)		H28年度決算
(財源内訳 事業費)	国支出	0
	県支出	0
	地方債	0
	その他	0
	一般財源	1,670
合計(千円)		1,670

※本施策の推進にかかった全事務事業の事業費合計額を表示しています。

【施策の進捗状況・評価及び今後の施策展開】		
総務部長	施策の進捗状況・評価	評価 4. 概ね施策目標を達成している
		分析理由 総合振興計画後期基本計画策定事業については、担当各課には計画内容の実現に向けて取り組んでもらうとともに、成果指標達成の意識付けを事務事業評価を通して適宜行なった。
	今後の施策展開	総合振興計画進行管理業務については、後期基本計画の目標達成に向けて、適切な進行管理を行う。
	施策の進捗状況・評価	評価
		分析理由
	今後の施策展開	
	施策の進捗状況・評価	評価
		分析理由
	今後の施策展開	

【第5次小郡市総合振興計画における成果指標】												
成果指標番号	成果指標	担当課	担当係	基準値(H26)	H27年度実績	H28年度実績	H29年度実績	H30年度実績	H31年度実績	H32年度実績	最終目標(H32)	
92	第5次総合振興計画(後期基本計画)の成果指標の達成率	企画課	企画政策係	-	45.1%	-	-	-	-		100%	

総合評価	4	【施策の進捗状況・評価】 5. 施策目標を十分達成している 4. 概ね施策目標を達成している 3. どちらともいえない 2. やや施策目標に達していない 1. 施策目標の達成には遠く、早急な見直しが必要である

【施策を実現するための主な事務事業とその状況】									
施策コード	業務名	業務の概要	担当部署				平成28年度指示内容		
			部名	課名	係名		決定内容	指示内容	決定権者
P6061	第5次総合振興計画進行管理業務【第5次計画指標管理】	平成23年度から、本市のまちづくりの根幹となる第5次小郡市総合振興計画がスタートしている。将来像である「人が輝き、笑顔あふれる快適緑園都市・おごおり」の実現に向けて、第5次総合振興計画に掲げている施策の進捗状況を把握していく必要がある。第5次総合振興計画では、まちづくりの達成状況を市民が実感できるよう、新たに「成果指標」を設定しているため、行政評価システムを活用して成果指標の進捗状況を客観的に把握しながら、効果的に計画を推進していく。	総務部	企画課	企画政策係		現状維持	後期基本計画がスタートし担当各課には計画内容の実現に向けて取組んでもらう必要がある。そのためにも成果指標達成の意識付けを事務事業評価を通して適宜行っていくこと。	課長
			成果指標	指標名		単位	H28実績		
				①	第5次総合振興計画(後期基本計画)の成果指標の達成率【第5次計画指標】	%	-		
P6061	行政評価システム推進事業	効果的・効率的な行政運営を行っていくため、NPMの考えを取り入れ、職員一人ひとりが成果や効率に着目して業務を行い、その上で一つひとつの事務事業を評価し、業務改善をしていく(行政活動の中でPDCAマネジメントサイクルを回していく)仕組みを確立する。また、評価した事務事業が施策目標の実現の手段として有効な事業であるかどうか、各施策の進捗状況はどうかを検証し、第5次総合振興計画の基本目標の達成に向けて今後の展開を検討するため、施策評価の仕組みを確立する。	総務部	企画課	企画政策係		改善・効率化	行政評価を事務事業の改善に繋げるためにさらに工夫をする必要がある。現在、異動の際の引継ぎや実施計画の策定、総合振興計画の成果指標進行管理への活用なども行っている。今後は各課においても事業計画の検証等に活用していく必要がある。施策評価は、公表を行うことを前提としていることから市民から理解してもらえるような内容となるよう周知をするとともにどのように改善につなげていけるかを研究すること。	課長
			成果指標	指標名		単位	H28実績		
				①	事務事業評価実施数	件	782		
			成果指標						
				② 施策評価実施数		件	40		